

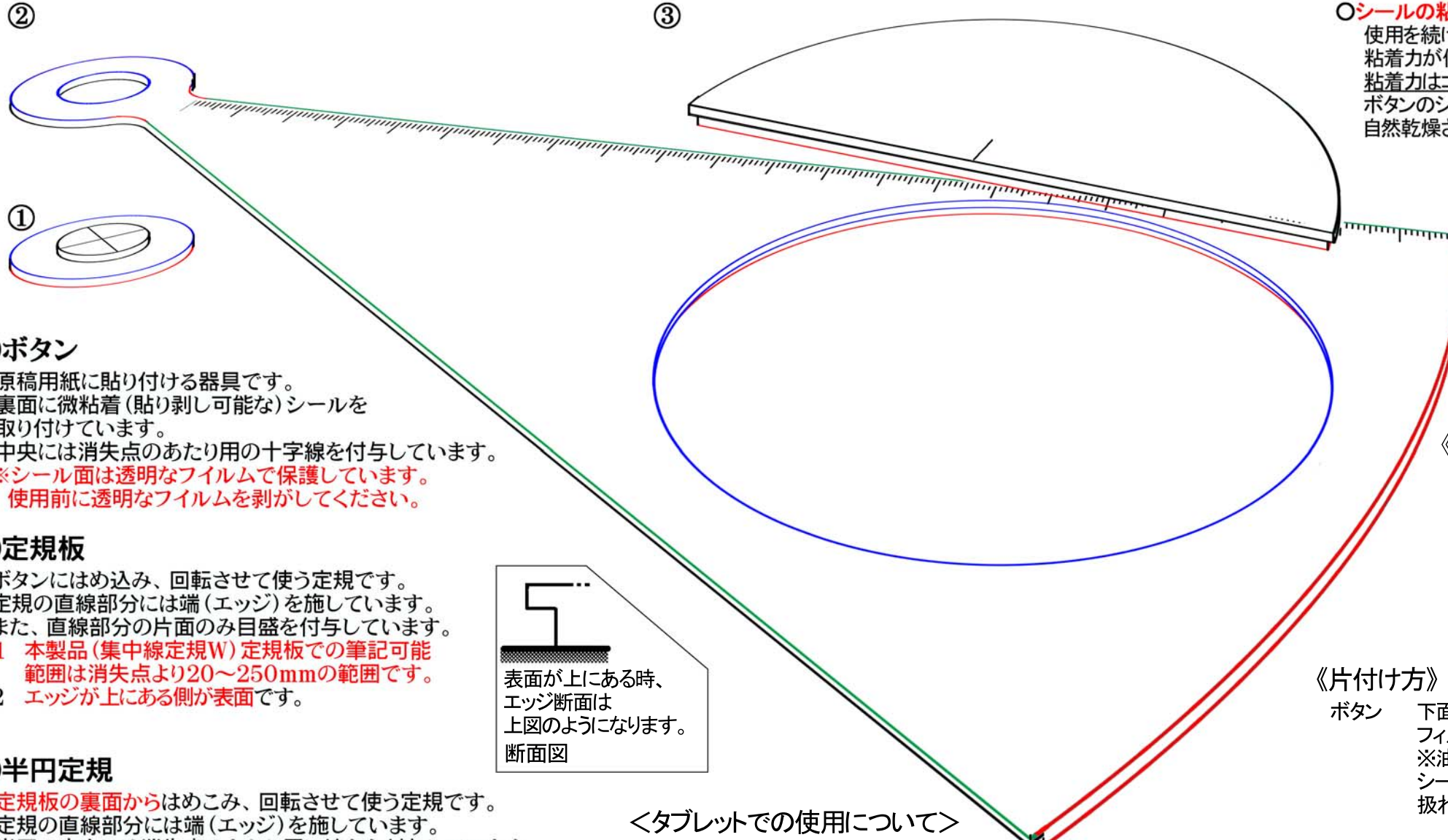
集中線定規W (エッジ付き)

—取扱説明書—

製品仕様

全長:265mm 全幅:約155mm
最大厚:1.5mm 最小厚:0.75mm 扇型角度:36°

製品構成

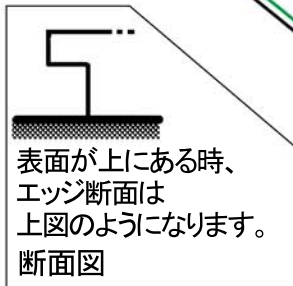


①ボタン

原稿用紙に貼り付ける器具です。
裏面に微粘着(貼り剥し可能な)シールを取り付けています。
中央には消失点のあたり用の十字線を付与しています。
※シール面は透明なフィルムで保護しています。
使用前に透明なフィルムを剥がしてください。

②定規板

ボタンにはめ込み、回転させて使う定規です。
定規の直線部分には端(エッジ)を施しています。
また、直線部分の片面のみ目盛を付与しています。
※1 本製品(集中線定規W)定規板での筆記可能範囲は消失点より20~250mmの範囲です。
※2 エッジが上にある側が表面です。



③半円定規

定規板の裏面からはめこみ、回転させて使う定規です。
定規の直線部分には端(エッジ)を施しています。
半円の中心には消失点のあたり用に線を付与しています。
※1 本製品(集中線定規W)半円定規での筆記可能範囲は消失点より0~49mm(直径98mmの円)の範囲です。
※2 線を描く部分のエッジが上にある側が表面です。
図上では②定規板の上に描いていますが、実際は定規板を裏返し、そこにはめこんで使います。

使い方は裏面へGo!

<タブレットでの使用について>

本製品は紙上での使用を推奨しております。
タブレットなどで使用する場合は画面を擦らないように、あて紙やフィルムなどで保護してからお使い下さい。
また、画面上ではボタンが外れにくい場合がございますのでご注意下さい。

※図面は説明用のものです。目盛位置などは実際の製品とは異なる部分があります。

漫画(イラスト)制作以外の奇抜な使用はおすすめしていません。
異常転売、複製禁止

注意事項

《ボタンについてのご注意》

- 使い始め**(シールの粘着力が強かったら)
ボタン下面の微粘着シールは長くお使いいただけるよう使い始めの粘着力がかなり強い仕様になっております。
使い始めは予め裏紙などで粘着力を試してからお使いください。
- シールの粘着力が落ちてきたら**(粘着力が弱くなったら)
使用を続けていくと、シール面付着した微細なゴミなどにより粘着力が低下し、原稿からはがれやすくなる場合があります。
粘着力はゴミを取ることで回復します。
ボタンのシール面が汚れたら水洗いなどで汚れをおとして自然乾燥させて下さい。

《定規板についてのご注意》

定規板中央に施している溝は半円定規を回転するためのレールです。
作画用ではありません。
無理に使うと溝に傷がつき、半円定規がうまく回転しない原因になりますのでご注意ください。

半円定規で描く際、定規板は半円定規用の固定器具を担います。作画中は手で固定して使いますが、ずれる場合はテープなどで仮止めしてください。

《半円定規についてのご注意》

半円定規は定規板上のくぼみにはめ込み、少しずつ回転させて使いますが、力のかけ方で意図しない方向にずれ、がたつくことがあります。
これは設計上やむを得ない(定規板に完全にはまると、かえって回転できなくなる)仕様によるものです。予め、ご了承ください。
うまく回転しない場合は、一度原稿用紙を回転させるなどして、回転させやすい姿勢で描いてください。

《片付け方》

ボタン 下面のシール部分はゴミや汚れがつかないようにフィルムシートなどで保護して保管してください。
※油分がつくと粘着力が低下する場合があります。
シール面をハンドクリームなどを付けている手では扱わないでください。

定規板・半円定規

折れ曲がったり折れたりしないよう水平な場所で保管してください。定規についた汚れは固く絞ったふきんなどで拭きとってください。
※アルコールなどでの掃除は変色や変質のおそれがありますのでご注意下さい。

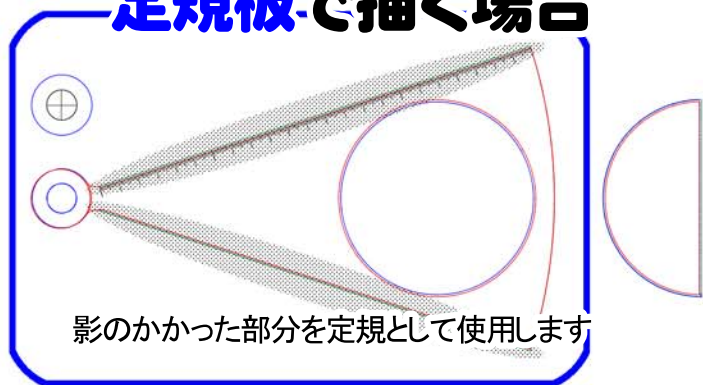
-奥付-

-集中線定規W- 制作:まみよい 企画・設計:やるせねこ
取説発行:2013/9/30(第1版) 特許第5009436号仕様
URL:<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~mamiyoi/>

《使い方》

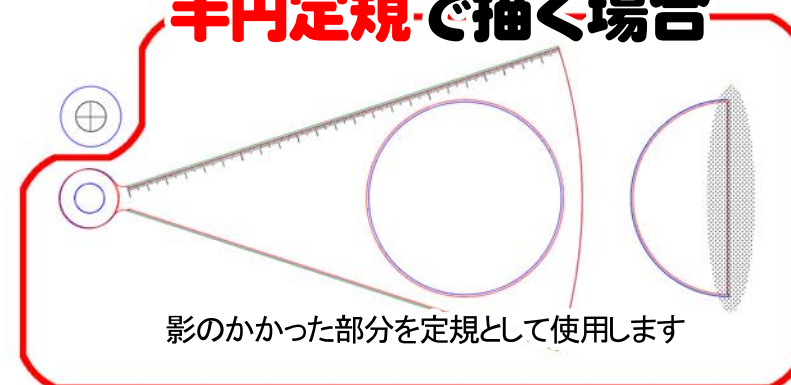
集中線定規Wは 使う定規により 定規板の向きが 変わります。

定規板で描く場合



影のかかった部分を定規として使用します

半円定規で描く場合



影のかかった部分を定規として使用します

《エッジについて》

線を描く部分のエッジが上にある側が表面です。

表面が上に向く時、
エッジの断面は
右図のようになります。



① 集中線を描きたい場所に消失点のアタリを描き、ボタンを設置します。



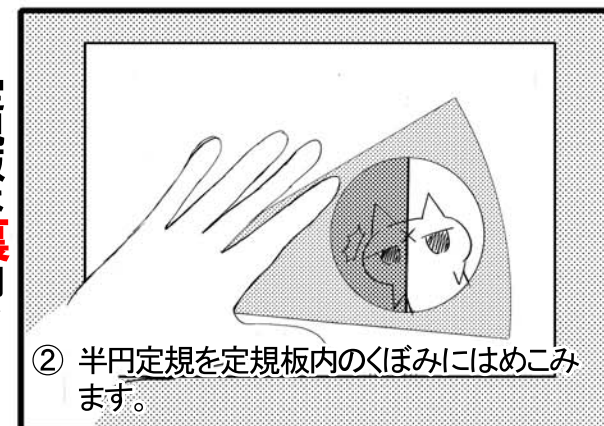
② 定規板を表向きにしてはめこみます。



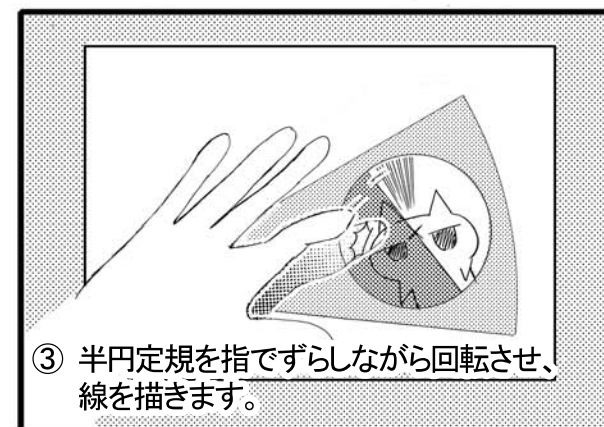
③ ボタンを中心に定規板を回転スライドさせ、線を描きます。



① 定規板を裏向きにし、定規板内のくぼみの中心と消失点が合うように仮固定します。 ※板がずれる場合はテープなどで仮固定してください。



② 半円定規を定規板内のくぼみにはめこみます。

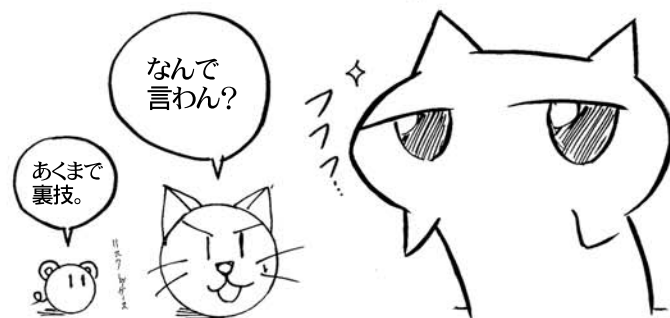


③ 半円定規を指でずらしながら回転させ、線を描きます。

〈余談〉

3つのパーツの
組み合わせ次第で
作り主が制作に
踏み切った思わぬ
効果が発動します!

探してみてね



定規板は裏向き

半円定規は表向き